

## 本時のねらい

・秋はどのような色の葉が多いのかを調べることを通して、秋の自然の様子と、夏の自然の様子との違いに気付く。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・前時に撮影した葉の写真を用いて、色ごとに分別する。  
・分別した葉のカードを共有することで、より多くの情報を基に秋にはどんな色の葉が多いのかを考えられるようにする。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ロイノート      ・大型モニター

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○課題を知る。 「秋の葉っぱを色で分けよう」  【写真1】	○大型モニターで、教員が作成した見本を見せて、本時の課題と操作方法を伝える。
展開 (25分)	○前時に撮影した葉っぱの写真、シンキングツール（座標）を用いて分別する。  【写真2】 ○分別したカードを共有し、気づいたことを全体で発表する。	○ロイノートを活用して、「みどり」「あか」「き」「ちやいろ」の4色に分ける。  ○それぞれが作ったカードを、大型モニターで映して共有することで、どんな色の葉が多いのかが視覚的にわかるようにする。
まとめ (10分)	○本時の振り返りを発表する。  【写真3】	○振り返りをロイノートで提出させ、全体で共有する。  ○発表している児童のカードを大型モニターで提示し、秋の自然の面白さや不思議さ、夏の自然との違いを全体で共有する。

## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】大型モニターで、教員が作成した見本を見て、操作方法を確認する様子



【写真2】ロイノートで、撮影した葉を色別に分ける様子



【写真3】ロイノートに振り返りを書き込む様子

## 児童生徒の反応や変容

・自分が見つけた葉っぱの写真を取り、子どもたちは大変意欲的だった。  
・友だちのカードと比較することで、どんな葉の色が多いのかを知ることができた。  
・振り返りでは、「夏よりもいろんな色の葉っぱがある」や「色の変わった葉っぱは下に落ちていた」と気づく児童もいた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・自分で撮った葉の写真を分別する活動だったので、意欲的に活動することができたが、ピントが合っていない写真があるため、少し見づらいものがあった。外での写真の撮り方の練習が必要であると感じた。  
・写真を撮る時期は葉が紅葉し落葉した時期にすることで、常緑樹と落葉樹の違いに気づきやすいので、撮影する場所は、常緑樹と落葉樹の両方を観察できる場所が適している。